

あいち農産物生産流通レポート

平成28年7月号

	ページ
◎ 情報サロン	
・ 東京都中央卸売市場における平成27年産の愛知県産農産物の動向 (東京事務所)	1
◎ 地域トピックス	
・ 地元のおいしさを凝縮！新城スイーツはいかがですか (新城設楽農林水産事務所)	3
◎ 東日本情報	
・ 在京流通行政連絡会の活動状況 (東京事務所)	4
◎ 西日本情報	
・ あいち型植物工場でトマト40t/10aを実現 (農業総合試験場)	6
◎ フラワーページ	
・ 伊勢志摩サミットにおける「あいちの花」のPRについて (政策企画局国際課)	8
・ 群馬県におけるアジサイ(鉢物)生産 (群馬県東京園芸情報センター)	11
◎ 青果	
・ 愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)	13
・ 名古屋・東京市場における青果物の7月の見通し	14
◎ 花き	
・ 切花・鉢花の7月の見通し(県内市場)	26
◎ 輸出入	
・ 主要農林水産物の輸出入実績(2016年4月)	30
◎ 関連指数	31

内容についての問合せ先

愛知県農林水産部食育推進課

(052)-954-6719

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ

(03)-5492-5400

東京都中央卸売市場における 平成 27 年産の愛知県産農産物の動向

愛知県東京事務所

平成 27 年産（平成 27 年 1 月から 12 月まで）の東京都中央卸売市場（9 市場）での本県産農産物の総取扱額は 333 億円（シェア 4.8%）で 47 都道府県の中で茨城県、千葉県、北海道、長野県、青森県に次いで第 6 位でした。なお、本県産農産物の内訳は野菜が 190 億円（前年対比 106.0%）、果実が 19 億円（前年対比 94.1%）、花きが 124 億円（前年対比 103.4%）となりました。

○ 野菜

東京都中央卸売市場での野菜の総取扱額は 3,950 億円で、前年をかなり（8.2% 300 億円）上回りました。

本県産については、キャベツでは、4 月から 5 月にかけて加工・業務筋の在庫不足により単価が高くなったものの、その後 10 月から 12 月にかけて入荷が集中し単価が低迷したこともあり、取扱額は前年並みとなりました。一方、トマトは入荷が集中した 9 月から 12 月までを除き、前年並みから前年を 3 割程度上回る単価で推移し、取扱額は前年をやや上回りました。ミニトマトはトマト同様に相場が堅調であったことに加え、入荷量も増加したことから、取扱額は前年をかなり上回りました。おおばは和食ブームの影響等により業務需要を中心に引き合いが強く、取扱額は前年を大幅に上回りました。これを受けて、本県の野菜全体の取扱高は前年をかなり上回りました。

表 1 東京都中央卸売市場における本県産主要品目の取扱額（野菜）

（単位：百万円）

品目	平成 27 年	前年対比	順位(シェア)	上位産地
野菜合計	18,983	106.0%	6 位(4.8%)	①茨城、②千葉、③北海道
キャベツ	4,584	101.4%	2 位(23.0%)	①群馬、②愛知、③千葉
トマト	2,812	105.3%	3 位(9.0%)	①熊本、②栃木、③愛知
ミニトマト	2,797	108.3%	2 位(19.9%)	①熊本、②愛知、③北海道
おおば	2,769	120.1%	1 位(74.3%)	①愛知、②茨城、③大分
ブロッコリー	1,429	96.8%	4 位(14.1%)	①北海道、②香川、③埼玉

○ 果実

東京都中央卸売市場での果実の総取扱額は1,714億円で、前年をやや(5.1% 84億円)上回りました。

本県産については、天候不順の影響により、いちご、いちじくの入荷量が減少し、いちご、いちじくともに取扱額は前年をかなり下回りました。これを受けて、本県の果実全体の取扱額は前年をやや下回りました。

表2 東京都中央卸売市場における本県産主要品目の取扱額(果物)

(単位:百万円)

品目	平成27年	前年対比	順位(シェア)	上位産地
果実合計	1,915	94.1%	19位(1.1%)	①青森、②愛媛、③栃木
いちご類	505	85.5%	8位(1.7%)	①栃木、②福岡、③佐賀
いちじく類	428	85.9%	1位(43.9%)	①愛知、②和歌山、③福岡
みかん類	409	89.6%	8位(1.5%)	①愛媛、②静岡、③長崎
かき類	356	102.3%	5位(6.4%)	①和歌山、②奈良、③福岡
メロン類	46	107.9%	11位(0.4%)	①茨城、②静岡、③熊本

○ 花き

東京都中央卸売市場での花きの総取扱額は884億円で、前年をやや(3.4% 29億円)上回りました。

本県産については、輪菊とスプレー菊ともに上半期を中心に前年より単価高となり、またスプレー菊については前年に対し入荷量も増加したため、取扱額はそれぞれ前年をかなり上回りました。また鉢物については、観葉植物は前年並みとなりましたが、鉢花とらん鉢については前年に引き続き取扱額が減少しており、鉢花は前年をかなり下回ったほか、らん鉢は前年をやや下回りました。本県の花き全体の取扱額は前年をやや上回りました。

表3 東京都中央卸売市場における本県産主要品目の取扱額(花き)

(単位:百万円)

品目	平成27年	前年対比	順位(シェア)	上位産地
花き合計	12,388	103.4%	1位(14.0%)	①愛知、②千葉、③埼玉
切り花計	9,123	105.7%	1位(15.4%)	①愛知、②千葉、③静岡
輪菊	4,634	108.1%	1位(52.2%)	①愛知、②沖縄、③静岡
スプレー菊	1,506	110.8%	1位(34.7%)	①愛知、②マレーシア、③栃木
ばら類	916	100.9%	2位(14.1%)	①静岡、②愛知、③山形
カーネーション類	342	99.2%	5位(5.7%)	①長野、②千葉、③コロンビア
観葉植物	1,372	100.1%	1位(37.4%)	①愛知、②静岡、③千葉
鉢花	676	93.7%	2位(11.5%)	①埼玉、②愛知、③千葉
らん鉢	549	94.6%	4位(11.5%)	①埼玉、②栃木、③山梨

地元のおいしさを凝縮！新城スイーツはいかがですか

新城設楽農林水産事務所

新城市産の茶、いちじく、いちごなどの地元特産物を使用して作られたお菓子、「新城スイーツ」についてご紹介します。



新城スイーツは道の駅「もっくる新城」で販売中
(右上から、新城茶っ葉ん、シフォンケーキ、生キャラメル、芋きんとん、あまなつ羊かん)

新城スイーツを販売するのは、新城市内製菓販売店の店主らで構成される「新城スイーツ食 Love(クラブ)」のメンバー4人で、平成28年2月の新東名高速道路(豊田東JCT～浜松いなさJCT)開通を機に、観光客に地元特産物を使用した和洋菓子を提供しようと結成されました。高速道路開通日には、長篠設楽原パーキングエリアで限定販売されたほか、現在は、道の駅「もっくる新城」にスイーツコーナーを設けて好評発売中です。

左上写真にある商品は、スイーツ食 Loveのメンバーが、豊橋調理製菓専門学校の生徒が考案したレシピを参考に商品化したスイーツです。新城スイーツは、

素材の味を活かし、すべて手作りで作られています。

「いちじくあん芋きんとん」は、いちじくのジャムを安納芋の生地で包みこみ、芋きんとんにした商品です。スイートポテト風味に焼いた安納芋といちじくの絶妙なコラボレーションが、口の中で優しく溶け合います。

「新城茶っ葉ん(ちゃっぱん)」は、パン生地に煎茶を練りこむことで、揚げパンでありながら後味爽やかに仕上がっています。紅ほっぺを使ったいちごカスタードパンと抹茶大納言パンの2個入りで、いちごの甘みと抹茶のほろ苦さの両方を楽しめます。

「シフォンケーキ」は、ほうじ茶味といちじく味の2種類あり、卵もこだわりの地元養鶏農家のものを使用。他にはないしっとりふわふわ感が味わえます。ほかにも、梅味とほうじ茶味がある生キャラメルや、あまなつの羊かんなどの商品があります。

新城スイーツ食 Loveでは、お土産品として日持ちするスイーツの商品化や、ほうれんそうなどの新しい素材を使った商品開発にも意欲的で、今後の新商品にも期待されます。新城市にお立寄りの際は、「新城スイーツ」を是非ご賞味ください。

在京流通行政連絡会の活動状況

東京事務所行政課農産物流通対策グループ

2020年の東京オリンピック・パラリンピックを控え、都内では耐震性確保等のためビルの取り壊しや造成が進み、また訪日外客数が過去最高を記録する等、街の様子が大きく変化してきています。

在京流通行政連絡会（以下在京とする）は、東京都に事務所を置き農産物の流通に携わる行政機関で組織されています。平成28年度は21県（第1表）で活動することが第24回通常総会（H28. 4. 27開催）で決まりました。

今年度から新たに秋田県が在京に所属するなど、首都圏への期待度の大きさがうかがえます。

○ 在京の目的

在京の目的は、会員相互の連携強化を図りつつ、広範にわたって農産物の生産流通に関する情報交換や調査研究等を行うことです。

○ 27年度の主な活動について

☆情報交換会

長野県のアンテナショップ「銀座NAGANO」内で行ったときには、銀座NAGANOの所長からの説明で、「H26. 10. 26に開店し拠点ができることで、都内ネットワーク形成ができました。地方が一体となって売り込んでいく、を発信しています。」とアンテナショップの活用方法が紹介されました。

また愛媛県では、ゆるキャラがもたらす絶大な経済効果に期待して、愛媛県のイメージキャラクター「みきゃん」を活用した首都圏プロモーションを行っています。県主催のイベントや百貨店等フェアに登場し、集客効果があつて女性や若者に人気があるとの

第1表 在京に所属する県名一覧

青森、秋田、山形、福島、茨城、
栃木、群馬、千葉、山梨、長野、
愛知、徳島、香川、愛媛、高知、
佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、
鹿児島

第2表 27年度の主な活動

☆情報交換会

10/2 各県イベント、フェアの体制等
3/7 県のキャラクターを活用したプロモーション等

☆講演会

12/1 「地方創世のための共創」
～全国の生活者のアイデアで地産品をリ
デザインしよう～

☆視察研修会

1/27 栃木県農業試験場

いちご研究所他

ことでした。首都圏における愛知の更なる認知度向上には、こうした取組についても一考の余地があると感じられました。

☆講演会

(株)Blaboの坂田社長の講演会では、(株)Blaboは、アイデアのクラウドソーシングサービスを行っており、鳥取県と「とっとりプロジェクト」を手がけていました。事例ではお餅をスライスした商品を「毎日がもちようび」とし、生活者の視点から商品の良さを捉えて既存の商品を生まれ変わらせ、新たな「気づき」を取り入れていました。また、その商品紹介については消費者の目を引きつける内容となっており、商品作りの参考になると思われました。



いちご研究所(栃木県)を視察

☆視察研修会

栃木県農業試験場いちご研究所(栃木県栃木市)では、「育種目標として、食味と耐病性、大粒を目指す」等の説明がありました。第89次農林水産省統計表(平成25~26年)によれば、栃木は作付面積605ha、収穫量65,000 tと全国一の産地となっています。同研究所は、「いちご王国とちぎ」の更なる発展を目指し、平成20年10月に開所されており、26年には「栃木i27号(商品名:スカイベリー)」が品種登録されました。栃木のいちごに対する思い入れの深さが表れていると感じました。

在京の活動は、27年度の活動にみられるように、「生産」、「流通」、「販売」と多岐にわたっています。また会員同士の情報交換を行うことにより、それぞれのトップセールスや農産物フェアの活動等がいつ、どこで開催され、どのように取り組んでいるか等わかるため、首都圏での活動に大いに刺激を受ける内容となっています。

あいち型植物工場でトマト 40t/10a を実現

農業総合試験場

1 開発の背景

近年、施設園芸に利用できる比較的安価な環境モニタリング装置や制御機器が登場しており、中小規模の経営でもこれらの機器を導入しやすくなっています。そこで、県内の施設栽培農家（各種野菜・花き）に機器の導入等についてアンケート調査したところ、約3割が施設の改修や環境制御機器の導入に強い関心を持っていることがわかりました（愛知県調べ、2015）。特に、トマト栽培では、既に環境制御機器を導入して長段栽培による長期出荷（例：10月～翌年7月出荷）に取り組む農家が増えています。最近、これらの製品や技術に関する情報は増える傾向にあり、新規に導入を検討する農家にとってその取捨選択を難しくしています。

こうした背景のもと、農業総合試験場はJAあいち経済連・トヨハシ種苗（株）と共同研究に取り組み、県内のトマト農家で最も層が厚い中規模経営（20～50a）向けに最適な投資で飛躍的に生産性を向上できる生産システムを「あいち型植物工場」として体系化しました。これには、以下のような三つの特徴が挙げられます。

- ①太陽光利用型を前提とし、既存のハウスを改修して利用することができます。
- ②二酸化炭素（以下CO₂）・温湿度などの高度な環境制御機能を選択して付加します。
- ③情報通信技術の利用により産地内の管理情報を共有し、栽培環境を最適化します。

2 トマトの増収に及ぼすCO₂施用と湿度調節の効果

トマトの施設栽培で制御したい環境には、CO₂・温度・湿度・日射・養水分等が挙げられます。このうち共同研究では、従来の管理技術において見直し部分や未着手部分が多いと思われるCO₂と湿度に着目し、技術開発に取り組みました。

(1) CO₂施用の効果

トマトの施設栽培におけるCO₂施用は、果実肥大の促進や空洞果の発生軽減に有効で、増収効果があります（図1）。特に低温期は換気を控えるため、施設内CO₂濃度は外気からの供給が制限され、200～250ppm程度と外気の400ppmに比べて大幅に低下し、光合成は著しく抑制されます。そこで本研究では、CO₂を効果的に施用する技術を検討した結果、施用位置を群落内の下方（高さ50cm程度）にすることで、管理濃度を日中に500～600ppm（ただし換気時は400ppm）にすること等が経営的に有利であることが明らかになりました。

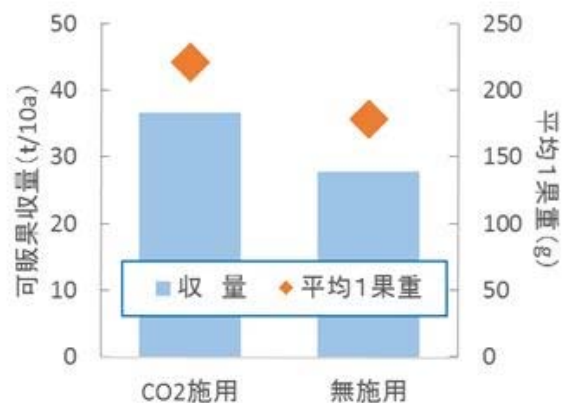


図1 トマトの収量に及ぼすCO₂施用の効果

(2) 湿度調節の効果

春～初夏期の湿度が低い時期に換気を行うと、ハウス内は過乾燥の状態になり、植物は大きなストレスを受けます。そこで本研究では、ミスト噴霧装置を利用して適切に加湿する技術を組み立てました。トマト栽培におけるミスト噴霧は、萎れを減らすとともに、4～6月期の裂果を軽減しました（図2）。

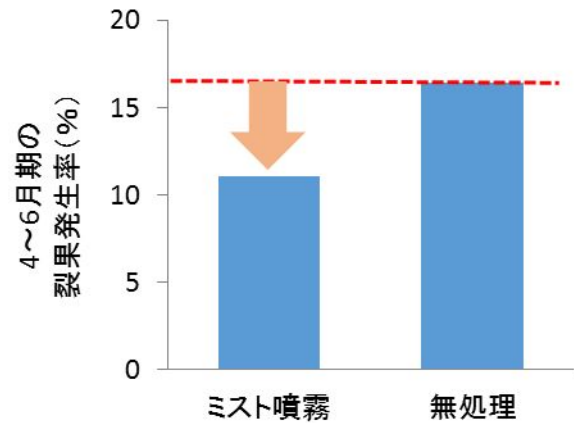


図2 トマトの裂果発生軽減に及ぼすミスト噴霧の効果

3 環境制御技術の導入による多収栽培の実証

J A あいち経済連営農支援センターの実証ハウスにおいて、CO₂施用、温湿度調節等の環境制御技術を組み合わせ、トマトの生育に好適な環境を作り出すことで収量 40t/10a を実証しました（図3）。これら一連の成果は、「あいち型植物工場マニュアル（トマト編）」として整理し、農業総合試験場のweb ページ上で公開しています。

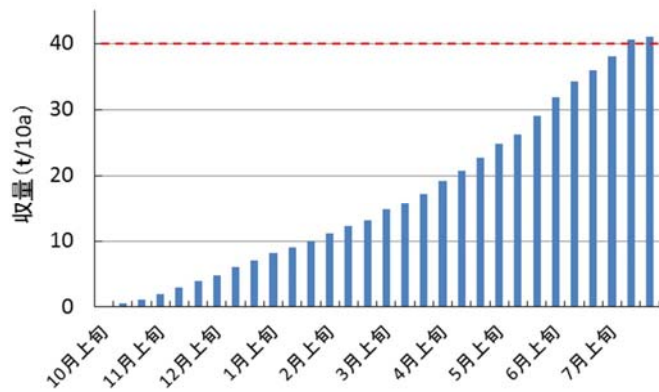


図3 トマト収量 40t/10a の実証結果

大規模な太陽光利用型植物工場が全国各地で建設されているものの、多額な設備投資・運転経費が負担となり、黒字は約3割にとどまっているという厳しい経営実態があります（日本施設園芸協会調べ, 2014）。「あいち型植物工場」では過剰に投資することなく、所得確保による安定経営の実現を可能にします（表1）。

表1 試算に基づく10a当たり経営収支

植物工場タイプ	収量 (t)	粗収入 ¹⁾ (万円)	経費 ²⁾ (万円)	所得 (万円)
あいち型	40	1,400	1,135	265

注1) トマト単価 350円/kgで計算、2) すべて新設の場合

4 普及に向けて

愛知県では、「食と緑の基本計画 2020」において「あいちの施設園芸高度化プロジェクト」を推進しています。このプロジェクトでは、主要な品目・産地ごとに「あいち型植物工場」の拠点を作るため、生産者のグループ化を進め、技術の高い生産者を中心に関係機関と連携して高度な環境制御技術の確立を目指します。なお、平成28年度には、県の新規事業として「あいち型植物工場推進事業」が予算化されており、農業総合試験場では環境モニタリングやモニタリングデータについてグループ及び指導機関で共有・活用する取り組み等を支援していきます。

伊勢志摩サミットにおける「あいちの花」のPRについて

政策企画局国際課

愛知県は、2016伊勢志摩サミット（5月26日、27日）におけるゲートウェイの役割を担ったことから、サミット参加各国首脳や関係者、メディア等、多くの方に対して、万全の体制で受け入れを行うとともに、日本一の技術・産業や伝統・文化に触れていただく機会を設け、本県の魅力PRに取り組みました。

その一環として、中部国際空港（セントレア）や名古屋駅等において、「あいちの花」による歓迎装飾や各国首脳への花束贈呈を実施し、日本一の花の生産県・愛知をアピールするとともにサミット開催の雰囲気盛り上げました。

1 カウントダウンボード周りの装飾

伊勢志摩サミット東海会議*がセントレアに設置したカウントダウンボードを彩るため、平成28年2月からサミット終了まで、「あいちの花」でボードの周囲を装飾しました。

期間中は、県内の花き関係団体の協力により季節の花を入れ替えながら、往来する人々に花の魅力をPRするとともに、サミットへの関心を喚起しました。

※東海地域の認知度向上等につなげるため、東海地域の官民が連携して行う事業の推進母体



リーガースベゴニア
(協力：田原市、平成28年2月)



スイートピー【今月のあいちの花4月】
(協力：花の王国あいち県民運動実行委員会、平成28年4月)

2 セントレア出発ロビーの装飾

サミット直前期からサミット開催に向けた機運を高めるため、5月21日から3階出発ロビーに、約500鉢の県内各地域の花々からなる巨大ツリー装飾を設置しました。（幅4m×奥行き4m×高さ3m）

サミット成功への願いを込めて、山の頂に向けて花が咲き誇っているイメージをコチョウランのツリーで表現しました。ツリーの足元は伊勢湾をイメージした青いアジサイで埋め尽くし、その周りを赤やピンクの花々で華やかに飾り付けました。



出発ロビーの花装飾

サミット終了後の6月13日まで、サミット関係者を始め、往来する国内外の利用者の目を楽しませ、記念撮影を行うスポットとして、大いに好評を博しました。

3 各国首脳への花束贈呈及び歓迎装飾

5月25日から26日にかけて各国首脳がセントレアに到着された際には、大村知事がお出迎えするとともに、県内の新成人又は児童から、本県産のバラやカーネーション、ガーベラ等で制作した花束を贈呈していただきました。

加えて、各国首脳が使用されるタラップ車の手摺り部分にも、ピンポンマムやトルコギキョウ等の花をアクリルケースに入れて飾り付け、歓迎の意を表しました。



↑各国首脳に贈呈した花束

←オバマ米大統領へ県内の新成人から花束を贈呈
(5月25日)



↑チャドのデビー・イトウノ大統領到着時の様子(5月26日)

←タラップ車の装飾

4 伊勢志摩サミットPR花壇

5月17日に、名古屋駅前「おもてなし花壇」の一角に、サミットPR花壇を整備しました。

国内外のサミット関係者に歓迎の意を表すため、オレンジとイエローの本県産の花材を使って、明るくさわやかな花壇としました。



伊勢志摩サミットPR花壇(5月17日)

5 おもてなしブースの装飾

5月23日から28日までの6日間、伊勢志摩サミット東海会議がセントレア及び名古屋駅に設置された「おもてなしブース」を花で装飾しました。

インフォメーション周りにデンドロビウムやベゴニア等を飾り、海外メディアを始めとしたサミット関係者に、本県の魅力の一つとして「あいちの花」を紹介しました。



セントレアおもてなしブース



名古屋駅おもてなしブース

6 地元歓迎レセプションの会場装飾

5月26日に、名古屋市内に宿泊されたアウトリーチ国や国際機関の方々を招いて開催した歓迎レセプションにおいて、日本の伝統芸術である“いけばな”を展示しました（幅1.8m×奥行1.8m×高さ2.5m）。

バラやユリ等の本県産の花をふんだんに使用し、そこにドウダンツツジ等の植物を組み合わせた大作が、会場前方を華やかに彩りました。



会場前方に展示した“いけばな”

7 まとめ

今回、愛知県が、サミット関連の様々な場面で「あいちの花」を大いに活用し、おもてなしに取り組んだことは、大変貴重な経験となりました。また同時に、取組の様子が複数のメディアに取り上げられたことにより、日本一の花の生産県であることをより効果的に国内外にアピールすることができました。

群馬県におけるアジサイ（鉢物）生産

群馬県東京園芸情報センター

1 本県の花き生産

平成26年の本県の花き産出額は約48億円で農業産出額のうち2.1%を占めています。主な生産品目は、スプレーギク、バラ、枝物類、シクラメン、アジサイ（鉢物）、カーネーション（鉢物）があります。

県では花き振興計画を策定し、産地の充実強化とともに、主要振興品目9品目（上記品目の他、コギク、トルコギキョウ、花壇苗類）を中心とした生産振興にあたっています。

2 本県におけるアジサイ（鉢物）の生産及び本県育成品種

本県のアジサイ（鉢物）生産は、作付面積552a、出荷量195千鉢（平成26年、県花き振興計画より）で、東京都中央卸売市場での取扱金額113百万円、同市場占有率20.6%（平成27年）となっています。

本県におけるアジサイ（鉢物）の栽培は、アジサイの品種登録第一号が本県生産者であるなど栽培の歴史は古く、生産者による品種育成が盛んであるほか、高級アジサイの産地として全国トップレベルの栽培技術を誇っています。

また、県農業技術センターでは、県オリジナル育成品種として「ラブリーハートピンク」、冬アジサイ「スプリングエンジェルシリーズ」を育成しています。

「ラブリーハートピンク」は、鮮やかなピンク色の丸い花卉のてまり咲きで、母の日のギフトに最適であり、わい性であることから需要の多い小鉢栽培に向いています。（写真1）

「スプリングエンジェルシリーズ」は、バイテク技術（胚珠培養）を用いて育成され、既存のアジサイ品種に比べ著しく早い1月下旬から出荷ができる冬アジサイです。「ピンクエレガンス」

「ブルーエレガンス」
「フリルエレガンス」
の3品種があり、常緑性で花着き、花保ちが良いことが特徴となっています。（写真2）

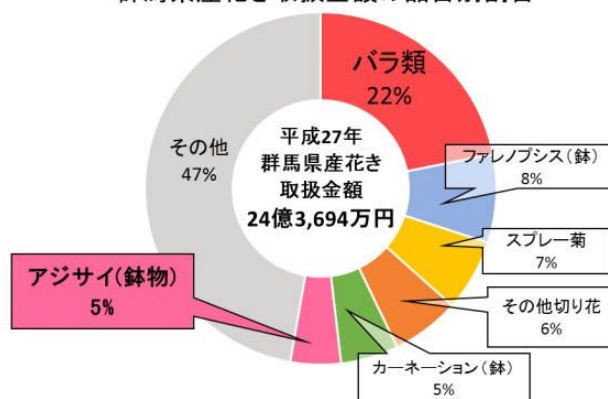


写真1 県育成品種
「ラブリーハートピンク」



写真2 県育成品種の冬アジサイ
「スプリングエンジェルフリルエレガンス」

平成27年東京都中央卸売市場における
群馬県産花き取扱金額の品目別割合



3 アジサイ（鉢物）の生産振興

県では、第6次群馬県花き振興計画においてアジサイ（鉢物）を主要振興品目と位置づけ、発色安定化技術の開発による高品質化、規格化のさらなる推進や品種登録支援による生産者の品種改良の加速化、さらに本県アジサイ（鉢物）生産の中心である「群馬県あじさい研究会」の活動支援を通じた担い手の確保、育成等を推進方針とし支援にあたっています。

4 群馬県あじさい研究会の取り組み

群馬県あじさい研究会（会員数11名）は、会員相互の技術研鑽とオリジナル品種「フェアリーアイ」等を核とした共同販売を行う生産者組織です。目揃い会や現地検討会等を開催し生産物の品質を高めて揃えるとともに、生産者自らが流通関係者への営業活動や販売会議を行うことで共同販売体制を確立しています。

ボリュームや花色の均一化が難しいとされるアジサイ（鉢物）生産において、高い技術レベルの生産者が組織化した当研究会では、母の日ギフトの予約販売に対応した規格統一や数量確保を実現し、オリジナル品種の開発や有利販売に取り組んでいます。

このような取り組みは、花きのブランド商品開発・販売で先駆的な役割を担って産地化に貢献したとして、2008年日本フラワービジネス大賞（流通・販売部門）を受賞しており、またオリジナル品種「フェアリーアイ」は、日本フラワー・オブ・ザ・イヤー2006（鉢物部門）も受賞しています。

現在、当研究会のオリジナル品種は「フェアリーアイ」「フェアリーキッス」の他、濃いブルーが魅力的な「フェアリーラブ」が平成28年から本格出荷となりました。また平成29年母の日から新品种の販売も予定されており、今後の活躍が注目されます。（写真3，4）



写真3 半てまりの八重咲き
「フェアリーアイ」



写真4 28年母の日から本格販売開始
濃いブルーが魅力的な「フェアリーラブ」

愛 知 産 青 果 物 の 動 向

「青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ±2%台以内
 や や : ±3～5%台
 かなり : ±6～15%台
 大 幅 : ±16%以上

○ 名古屋中央卸売市場（品目：アールスメロン）

	入 荷 量 (t)	卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産	愛知産	
27年実績	1,458	280 (19%)	838	507 静岡 (38%) 熊本 (16%) 高知 (13%)
28年見通し	1,300	—	850	—
概要と見通し		卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>県産は6、7月を中心に出荷されるが、気温が高めで推移したため、全体的に前進している。入荷も早まっており、6月時点で8割が終了見込み。ギフト用の注文は年々減少傾向であるが前年並みである。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年並みを見込む。</p>		<p>入荷量の増減があるが、計画的な出荷を望むとともに、年々入荷が減っている中ではあるが、需要期の入荷が増えるよう作付けをお願いしたい。 また、ギフト用の需要が多いが、大玉中心で果硬部（アンテナ）のしおれに注意して欲しい。</p>		

○ 東京都中央卸売市場（とうがん）

	入 荷 量 (t)	卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産	愛知産	
27年実績	2,495	831 (33%)	154	180 沖縄 (21%) 神奈川 (20%) 静岡 (12%)
28年見通し	2,500	—	130	—
概要と見通し		卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>前年は、本県、沖縄、茨城が増量だったが、総入荷量は前年をわずかに下回り、価格は野菜全体が高値基調だったこともあり大幅に上回る結果となった。本年も本県をはじめ沖縄、神奈川、静岡などからの入荷となる。5月までの入荷量は前年をやや上回り、生育は各産地とも概ね良好である。本県産の入荷開始は5月30日と前年より2日早く、7月に入荷ピークを迎える。 入荷量は前年並で、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>		<p>スマートフォンの普及でレシピ検索が容易となり、ネット上のレシピも豊富な状況にあるなか、一般家庭向け利用方法について積極的な提案を量販店等に行い、売場で紹介してほしい。 愛知県産については品質に問題なく、これまで通り、形や色を揃えるなど高品質の保持に努めて欲しい。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の7月の見通し

名古屋市中央卸売市場

6月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜	23年	30,577	229	230	222	210	長野 26%
	24年	29,793	219	208	213	198	北海道 11%
	25年	30,327	204	237	239	210	兵庫 10%
	26年	29,589	213	221	215	210	青森 9%
	27年	28,893	262	257	266	267	
計	5ヵ年平均	29,836	225	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	28,800	246	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>産地は長野、北海道など高冷地、北日本中心となる。 総体的には、天候も安定しており、順調な生育であるが、品目によっては端境で一時的に少なくなるものもある。 入荷量は前年並みとなるが、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>							
だい	23年	1,688	95	94	98	99	青森 53%
	24年	1,820	76	81	80	75	北海道 36%
	25年	1,746	91	118	83	83	岐阜 9%
	26年	1,557	76	78	78	78	長野 1%
	27年	1,442	117	126	133	107	
こ	5ヵ年平均	1,651	90	99	93	88	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	1,500	100	100	100	100	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>青森、北海道を中心に岐阜などから入荷する。青森は作付け面積が減少しているものの、欠株へのまき直しなどをしっかりやっており、それなりに出る。スタートはやや少なめ。北海道は生育は概ね順調だが、やや遅れての出荷となる。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>							
に	23年	1,785	117	141	110	107	青森 65%
	24年	1,603	163	241	166	120	北海道 33%
	25年	1,672	124	157	115	105	中国 1%
	26年	1,644	119	136	116	117	茨城 1%
	27年	1,554	147	117	124	199	
じ	5ヵ年平均	1,652	133	158	126	128	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	1,600	140	120	140	160	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>青森を中心に北海道などから入荷する。青森は順調な生育で潤沢な入荷が見込まれる。北海道も順調で下旬から増えてくる。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>							

注) 「ねぎ」は「こねぎ」を含む。
「なす」は「長なす」と「べいなす」を含む。

東京都中央卸売市場

6月27日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	23年	118,688	238	250	237	228	群馬 15%
	24年	123,363	217	224	215	212	長野 13%
	25年	127,083	250	267	251	234	茨城 11%
	26年	127,260	229	238	227	223	北海道 10%
	27年	122,865	274	262	289	274	青森 9%
	5ヵ年平均	123,852	242	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	126,000	250	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>群馬、長野の高冷地と東北、北海道からの入荷が本格化する時期となる。梅雨に入り曇雨天や低温の影響で品目によってはこれまで生育前進傾向だったものが落ち着いてきた。</p> <p>入荷量は前年をわずかに上回り、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>					
だいこん	23年	8,212	93	95	89	95	北海道 60%
	24年	8,703	70	76	68	68	青森 35%
	25年	8,952	90	117	78	80	岩手 2%
	26年	9,212	76	81	72	74	群馬 2%
	27年	9,437	108	121	116	94	
	5ヵ年平均	8,903	88	98	85	82	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	9,400	80	90	80	70	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道、青森からの入荷が中心となる。北海道は降雨や低温のため生育は鈍くなっている。青森は作付面積微増で、雪解けが早く播種作業が早くなったがその後の低温の影響で生育は前年並で推移。</p> <p>入荷量は多かった前年並で、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
にんじん	23年	6,145	111	118	104	112	青森 44%
	24年	6,291	149	185	152	115	北海道 31%
	25年	6,753	124	137	117	115	千葉 21%
	26年	6,895	114	121	109	112	中国 2%
	27年	6,843	134	110	114	189	
	5ヵ年平均	6,585	126	134	119	129	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	7,000	123	130	120	120	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>青森、北海道、千葉からの入荷がほとんどを占める。青森は播種作業は早かったが梅雨の低温等の影響で生育は平年並。北海道はMS中心の入荷見込み。千葉は生育前進傾向で終盤を迎える。</p> <p>入荷量は前年をわずかに上回り、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうきさい	23年	1,919	58	67	57	60	長野 98% 群馬 2%
	24年	1,865	50	64	51	51	
	25年	1,529	84	79	83	107	
	26年	1,650	64	78	59	64	
	27年	1,413	83	80	77	98	
ほうきさい	5ヵ年平均	1,675	66	73	64	74	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
ほうきさい	28年見通し	1,600	70	70	70		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長野を中心に、一部群馬からも入荷する。盆前までは大幅な増加はない見込み。また、量販の需要も増えてこない。1/4カットが主力で、加工業務用は平年並み。入荷量は前年をかなり上回り、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>					
キャベツ	23年	4,096	95	117	101	75	群馬 49% 長野 28% 茨城 16%
	24年	4,259	57	61	57	59	
	25年	3,839	105	111	98	108	
	26年	4,227	72	81	66	75	
	27年	4,009	95	92	86	107	
キャベツ	5ヵ年平均	4,086	84	92	81	84	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
キャベツ	28年見通し	4,000	85	90	85	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>群馬、長野を中心に、茨城などから入荷する。群馬は7月出しの作付面積が増えている。干ばつ気味であるが、生育はやや早めに進んでいる。作柄は雨の降り方次第だが、概ね順調。入荷量は前年並、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
ほうれんそう	23年	193	687	684	695	689	岐阜 84% 長野 7% 茨城 3% 愛知 2%
	24年	226	600	622	576	598	
	25年	204	702	871	646	621	
	26年	183	617	569	667	662	
	27年	183	709	677	701	725	
ほうれんそう	5ヵ年平均	198	661	686	654	656	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
ほうれんそう	28年見通し	190	650	700	650	600	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>岐阜の高冷地ものが中心に入荷する。干ばつ気味でその点が心配だが、順調に入荷する見込み。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうきさい	23年	6,005	58	64	56	長野 87%	
	24年	5,669	50	55	45	群馬 10%	
	25年	5,834	88	76	82	茨城 2%	
	26年	5,955	66	75	57		
	27年	5,783	81	76	71		
	5ヵ年平均	5,849	69	69	62		
28年見通し	5,800	68	70	70	前年及び本年の 入荷量・価格の動き		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長野、群馬からの入荷がほとんどを占める。長野は干ばつのため生育前進傾向だったが梅雨の降雨で玉肥大が進む見込み。群馬は生育良好で順調出荷が期待できる。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>					
キヤベツ	23年	14,130	92	106	98	76	群馬 71%
	24年	15,032	51	57	48	49	岩手 11%
	25年	16,344	97	106	86	100	長野 5%
	26年	16,028	69	80	66	64	茨城 4%
	27年	15,612	91	89	82	99	千葉 3%
	5ヵ年平均	15,429	80	88	76	78	
28年見通し	16,000	83	90	80	80	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>群馬を中心に岩手、長野、茨城などから入荷する。群馬は6月の降雨で玉肥大良く出荷は3日ほど前進傾向。岩手は5月上旬頃までの低温の影響が危惧されたが、適度な降雨があり生育は概ね良好。</p> <p>入荷量は前年をわずかに上回り、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>					
ほうれんそう	23年	910	587	548	565	667	群馬 27%
	24年	1,074	513	492	447	618	茨城 21%
	25年	923	671	754	609	646	栃木 20%
	26年	972	617	552	640	677	岩手 13%
	27年	990	660	589	717	698	岐阜 6%
	5ヵ年平均	974	607	584	593	661	
28年見通し	1,000	600	500	600	700	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>群馬など関東高冷地と岩手からの入荷が中心となる。群馬、岐阜は6月下旬の降雨で干ばつが解消され生育は平年並。栃木は生育前進し少なくなる見込み。岩手は生育良好で順調出荷が期待できる。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	23年	746	382	374	415	389	愛知 26%
	24年	740	384	384	408	380	大分 15%
	25年	713	422	410	452	424	茨城 13%
	26年	685	386	403	407	376	静岡 12%
	27年	651	464	466	493	468	
ぎ	5ヵ年平均	707	406	406	434	406	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	650	420	420	420	420	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知、茨城を中心に入荷、白ねぎは大分、鳥取中心に入荷する。 春ネギは終盤になるが、山谷なく安定した入荷になる見込み。 入荷量は前年並、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
し タ	23年	2,275	106	121	113	109	長野 99%
	24年	2,488	110	113	115	126	
	25年	2,508	177	198	206	153	
	26年	2,780	151	154	150	164	
	27年	2,409	189	159	200	221	
ス	5ヵ年平均	2,492	147	150	157	155	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	2,500	150	140	150	160	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>ほぼ長野のみからの入荷となる。6月の低温と干ばつで出遅れている。6月下旬から7月上旬は2L、L中心でピークとなる。中旬になると少し落ち着く。20日以降は大きな増減なく出荷される見込み。 入荷量は前年をやや上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
き ゆ	23年	1,359	296	318	291	283	長野 56%
	24年	1,404	257	275	255	249	北海道 19%
	25年	1,335	295	331	290	275	山形 6%
	26年	1,396	247	249	254	244	愛知 6%
	27年	1,242	296	295	323	280	
う り	5ヵ年平均	1,347	278	293	282	266	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	1,300	275	280	300	250	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>西南暖地が終了し、長野中心に東北、北海道などから入荷する。各地ともに作付面積は横這いから減少傾向。梅雨の天候次第で出方が左右されるが、まともなら順調な入荷を見込む。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	23年	4,409	338	324	353	336	茨城 55%
	24年	4,517	328	331	365	290	千葉 12%
	25年	4,456	412	410	438	386	中国 5%
	26年	4,338	379	427	372	339	埼玉 5%
	27年	4,313	483	535	493	433	北海道 3%
5ヵ年平均		4,407	387	404	404	356	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
28年見通し		4,320	390	430	410	330	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城を中心に千葉、埼玉などからの入荷となる。露地ものに切り替わる時期で、茨城は乾燥の影響でやや細めだったが降雨により太ってくる見込み。千葉は生育、肥大とも概ね良好。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
し	23年	9,501	103	110	102	96	長野 83%
	24年	9,610	107	100	104	107	群馬 12%
	25年	9,630	186	200	201	157	岩手 3%
	26年	9,647	132	157	159	172	
	27年	9,064	197	164	207	219	
5ヵ年平均		9,490	145	146	154	150	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
28年見通し		9,500	120	120	120	120	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長野を中心に群馬、岩手からの入荷となる。長野と群馬はともに少雨の影響でやや小玉傾向で推移したが梅雨の降雨で回復に向かう。生育は概ね良好で順調出荷が期待できる。</p> <p>入荷量は前年をやや上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
きゅう	23年	7,832	266	321	233	257	福島 41%
	24年	7,868	224	230	212	230	岩手 15%
	25年	7,592	279	280	268	289	秋田 12%
	26年	7,736	209	216	218	199	山形 6%
	27年	7,343	268	250	291	264	千葉 5%
5ヵ年平均		7,674	249	259	244	247	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
28年見通し		7,700	237	270	240	200	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>福島、岩手など東北産地に入荷が切り替わる。各産地ともハウスものに加えて露地もの出荷が始まり、下旬頃にピークを迎える見込み。福島は適度な降雨により生育良好で順調出荷が期待できる。</p> <p>入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な	23年	1,081	315	327	309	319	愛知 40%
	24年	1,005	300	294	316	300	山梨 16%
	25年	969	276	333	275	238	徳島 12%
	26年	947	271	260	279	279	茨城 11%
	27年	931	337	332	380	322	
す	5ヵ年平均	987	300	310	311	292	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	970	325	330	330	320	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>冬春物から夏秋に切り替わる。愛知、山梨、徳島、群馬から入荷する。露地の産地が多く、天候に左右されるが、今は順調な生育。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>							
ト マ ト	23年	1,342	348	327	359	360	岐阜 34%
	24年	1,402	318	325	320	317	愛知 28%
	25年	1,247	363	376	375	344	北海道 16%
	26年	1,442	300	296	317	293	三重 6%
	27年	1,451	311	302	358	295	
ト	5ヵ年平均	1,377	327	324	345	321	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	1,400	320	300	350	300	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>岐阜、愛知を中心に北海道などから入荷する。全体的に大玉傾向である。北海道は生育が鈍い状況だが、下旬には入荷も増えてくる。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格はわずかに上回る見込み。</p>							
ミ ニ ト マ ト	23年	292	715	678	756	745	北海道 47%
	24年	349	622	618	614	635	愛知 29%
	25年	346	670	673	787	558	茨城 10%
	26年	388	560	541	554	582	熊本 5%
	27年	409	610	542	643	633	
ト	5ヵ年平均	357	630	604	664	626	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	370	620	600	650	600	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道、愛知を中心に入荷する。北海道は生育は気温の低下で生育は鈍いが概ね順調な入荷となる。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年並の見込み。</p>							

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な	23年	4,843	316	366	287	302	栃木 24%
	24年	4,479	341	354	355	320	茨城 24%
	25年	4,553	337	414	304	307	群馬 24%
	26年	4,731	308	327	337	266	福岡 5%
	27年	4,474	369	422	439	297	埼玉 5%
す	5カ年平均	4,616	334	376	343	298	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	4,500	340	350	320		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>栃木、群馬、茨城など関東産地からの入荷が中心となる。各産地とも露地ものは少雨で生育遅延がみられたが、梅雨に入り回復傾向にある。栃木、群馬は下旬頃から増量の見込み。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>					
ト マ ト	23年	8,002	340	331	320	371	青森 17%
	24年	8,874	301	307	295	301	北海道 12%
	25年	8,167	353	369	343	353	岩手 9%
	26年	8,707	300	317	310	281	千葉 9%
	27年	8,934	297	306	345	268	栃木 9%
ト	5カ年平均	8,537	317	325	322	313	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	8,900	300	310	310	280	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>青森、北海道からの入荷が本格化してくる。青森は適度な降雨と日照量があり生育は良好。北海道は低温の影響で生育は遅れ気味。千葉は夏秋作の出荷が始まり、栃木は終盤を迎える。</p> <p>入荷量は前年並で、価格も前年並の見込み。</p>					
ミ ニ ト マ ト	23年	1,040	695	720	689	674	茨城 25%
	24年	1,434	561	566	591	533	福島 13%
	25年	1,606	587	566	683	511	愛知 12%
	26年	1,726	537	506	568	540	青森 11%
	27年	1,823	558	506	601	577	千葉 10%
ト	5カ年平均	1,526	579	559	621	560	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	1,800	560	500	600	580	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城、福島、青森からの入荷が増えてくる。各産地とも着果状況良好なことから順調出荷が期待できる。茨城、福島は出荷最盛期を迎え、本県と千葉は終盤を迎える。</p> <p>入荷量は前年並で、価格も前年並の見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	23年	426	450	466	442	483	茨城 37%
	24年	480	303	282	355	324	岩手 26%
	25年	398	435	441	516	411	北海道 21%
	26年	526	295	326	318	263	
	27年	446	446	388	481	492	
マ	5ヵ年平均	455	380	375	416	388	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	450	440	380	440	500	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>宮崎の夏秋が6月中下旬で終了。7月になると岩手、北海道が中心に入荷する。茨城は前進傾向、岩手、北海道は気温が低くやや遅れての動きとなる。 入荷量、価格ともに前年並みの見込み。</p>					
ばれいしょ	23年	1,662	101	118	90	97	静岡 28%
	24年	1,566	89	86	103	86	長崎 20%
	25年	1,536	126	85	166	132	青森 19%
	26年	1,554	136	142	150	146	
	27年	1,690	244	296	287	218	
い	5ヵ年平均	1,602	140	148	160	137	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	1,600	200	200	200	200	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>長崎が終わって、静岡、青森、北海道からの入荷となる。長崎は7月上旬まで残り、静岡は順調でL、M中心の入荷。青森が中旬以降に、そのあと20日辺りから北海道が出る。 入荷量は前年をやや下回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
たまねぎ	23年	3,412	64	63	64	67	兵庫 77%
	24年	3,245	129	131	127	130	愛知 15%
	25年	3,688	82	81	82	85	北海道 3%
	26年	3,626	110	107	110	112	中国 3%
	27年	3,636	154	154	155	156	
ね	5ヵ年平均	3,521	108	107	108	110	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	3,300	180	180	180	180	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>兵庫中心で、愛知の残量が入荷する。名古屋市場への入荷はないが、佐賀の大不作が影響し、品薄感が出ている。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は高かった前年をからさらに大幅上回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	23年	1,781	409	441	362	422	茨城 55%
	24年	2,018	248	220	273	254	岩手 26%
	25年	1,911	417	433	474	331	福島 9%
	26年	2,099	284	313	287	247	青森 4%
	27年	1,900	412	345	461	445	高知 1%
マ	5カ年平均	1,942	351	347	369	336	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	1,950	333	340	330	330	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>茨城、岩手、福島からの入荷が中心となる。茨城は出荷最盛期を過ぎ後半に向かう。岩手は作付け面積増。上旬には露地ものの出荷が始まり、中旬頃から出荷最盛期を迎える見込み。</p> <p>入荷量は前年をわずかに上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
ばれいしょ	23年	5,740	102	119	97	90	茨城 29%
	24年	5,473	88	92	90	81	千葉 19%
	25年	5,528	147	129	147	171	静岡 15%
	26年	5,899	136	132	138	140	長崎 15%
	27年	5,627	229	264	243	182	北海道 12%
い	5カ年平均	5,653	140	147	143	133	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	5,600	197	210	200	180	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>茨城、千葉、静岡、長崎からの入荷が中心となる。千葉は作付面積減も、天候に恵まれ生育、肥大ともに良好。上旬に出荷最盛期を迎える見込み。静岡は生育良好で前進出荷傾向。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>					
たまねぎ	23年	8,728	68	71	66	68	兵庫 42%
	24年	8,312	142	145	139	143	佐賀 27%
	25年	9,915	89	86	89	91	香川 9%
	26年	9,198	120	115	119	127	中国 7%
	27年	9,262	163	153	172	164	ニュージーランド 3%
ね	5カ年平均	9,083	116	113	117	118	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	8,500	163	150	170	170	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>兵庫、佐賀、香川からの入荷が中心となる。各産地とも病害発生に悩まされており、兵庫は青切りのため出荷が前進化。佐賀は小玉傾向で出荷は少なくなる見込み。</p> <p>入荷量は前年をかなり下回り、価格は高かった前年並の見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

※アールスメロンの旬別単価は、データが存在しないため表示しない。 単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果実計	23年	11,793	336	342	318	306	愛知 16%
	24年	10,410	364	368	326	335	フィリピン 14%
	25年	11,166	319	351	336	340	長野 9%
	26年	10,541	345	351	336	340	山形 8%
	27年	9,121	400	385	391	421	
	5ヵ年平均	10,606	351	358	339	345	
	28年見通し	9,000	390	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は愛知、フィリピンを中心に長野、山形など。露地物の生育は平年より前進気味。開花期に好天に恵まれたため各地豊作傾向にある。 入荷量は少なかった前年をやや上回り、価格は高値基調が続いた前年をやや下回る見込み。							
アー ル ス	23年	252	677	—	—	—	愛知 50%
	24年	250	568	—	—	—	静岡 38%
	25年	256	584	—	—	—	高知 8%
	26年	250	537	—	—	—	茨城 3%
	27年	227	583	—	—	—	
	5ヵ年平均	247	590	—	—	—	
	28年見通し	220	550	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
主要産地は愛知、静岡を中心に高知など。空梅雨と気温高の影響で荷動きは活発となる見込み。出荷ペース・生育ともに順調となるが、切り上がりも早くなる展開も予想される。 入荷量はやや下回る見込みだが、価格についても前年をやや下回る見込み。							
す い か	23年	2,768	199	209	212	182	愛知 23%
	24年	3,511	136	148	130	133	長野 17%
	25年	3,783	156	166	150	159	石川 16%
	26年	3,732	123	131	109	133	新潟 14%
	27年	2,767	140	120	123	182	
	5ヵ年平均	3,312	149	154	142	155	
	28年見通し	2,500	140	140	140	140	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は愛知、長野、石川、山形中心。春先から好天に恵まれ、気温が高かったため生育は順調。作柄も良く出荷のピークとなる。 入荷量は前年並み、価格は前年をやや上回る見込み。(※H28.5月の見通しには、こだますいかの入荷量、卸売価格が含まれていないため、上記表とコメント欄の表現に相違があります)							

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果実	23年	37,118	380	400	400	345	山形 18%
	24年	38,687	339	367	338	316	山梨 14%
	25年	39,489	362	398	351	340	千葉 10%
	26年	39,571	354	422	345	349	フィリピン 7%
	27年	38,282	374	385	374	367	青森 7%
	5ヵ年平均	38,629	362	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	38,800	360	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
すいか類、もも、メロン類を中心に入荷する。各品目とも露地ものは生育が前進しており、豊作傾向が見られるため潤沢な入荷となる見込み。今後も気温高で推移すれば堅調な引き合いが期待される。入荷量は前年並みとなり、価格は天候不順による入荷減により高値であった前年をやや下回る見込み。							
アーメロン	23年	606	741	749	770	680	静岡 52%
	24年	685	596	626	641	511	千葉 15%
	25年	714	668	750	683	535	茨城 14%
	26年	698	591	621	614	623	熊本 5%
	27年	660	672	717	653	631	高知 5%
	5ヵ年平均	673	654	693	672	596	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	670	690	710	670	650	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
静岡、千葉、茨城などからの入荷となる。静岡は外観・内容ともに良好。千葉は2Lサイズ中心で7月中旬の切り上がりが見込まれる。茨城は肥大は良好で生育は前進傾向。入荷量は前年並みとなり、価格は前年をわずかに上回る見込み。							
すいか	23年	12,092	217	215	250	188	山形 29%
	24年	13,933	147	154	146	142	千葉 17%
	25年	14,661	170	180	172	159	新潟 13%
	26年	14,695	140	153	138	134	神奈川 11%
	27年	14,842	154	140	143	170	長野 8%
	5ヵ年平均	14,045	166	168	170	159	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	15,000	160	170	160	150	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
千葉に加え山形、長野からの入荷が本格化する。千葉はやや前進しており品質は良好。山形は生育は前進傾向で肥大もよい。長野は前進傾向であるが高齢化による生産者減により入荷量は前年を下回る見込み。入荷量は前年並みとなり、価格は前年をやや上回る見込み。							

切花・鉢花の7月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 6月30日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪ぎ	実績	23年	2,024	53	
		24年	2,295	30	
		25年	2,203	46	
		26年	2,091	31	
		27年	2,088	39	
	5ヶ年平均	2,140	40		
28年見通し	2,100	40			
概要	<p>愛知、三重、長野等から入荷。高冷地の露地物の出荷も本格化し、順次増えてくる。上旬は新盆需要で多少動きがあるが、全般的には業務主体で小売りの動きは鈍い。</p>				
小ぎ	実績	23年	1,843	32	
		24年	2,095	21	
		25年	2,542	23	
		26年	2,408	15	
		27年	2,231	23	
	5ヶ年平均	2,224	22		
28年見通し	2,200	23			
概要	<p>愛知、埼玉、奈良に加え、長野、岩手からの入荷も始まる。梅雨空続きで小売りの動きは重く、軟調な展開。</p>				
カーネーション	実績	23年	1,260	31	
		24年	1,079	39	
		25年	1,210	45	
		26年	1,086	40	
		27年	1,139	44	
	5ヶ年平均	1,155	40		
28年見通し	1,150	40			
概要	<p>長野、北海道から入荷。今年は暖冬の為、暖地から高冷地へのスライドが早く、6月に若干例年より数量が多く出ているため、7月は一番花のピークを迎えるが、大きな出荷の山なく、ある程度の単価で推移する見込み。</p>				
かすみ草	実績	23年	111	70	
		24年	114	66	
		25年	148	83	
		26年	120	84	
		27年	139	89	
	5ヶ年平均	126	79		
28年見通し	130	80			
概要	<p>長野、福島中心に入荷は少なそう。例年通り、業務中心の販売で苦しい展開。</p>				

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆ り	実績	23年	468	125	
		24年	440	134	
		25年	519	125	
		26年	404	125	
		27年	383	146	
	5ヶ年平均		443	131	
	28年見通し		400	140	
概要	<p>OHは新潟、埼玉、北海道、岐阜からの入荷。入荷はやや少ない予想。6月後半の販売苦戦が7月初旬までもつれ込みそう。中旬以降は持ち直すと思われる。LA、鉄砲は少なめの入荷。業務次第ではあるが月全般で販売はスムーズな動きで単価も安定。</p>				
洋 ら ん	実績	23年	375	85	
		24年	376	84	
		25年	423	94	
		26年	362	90	
		27年	392	92	
	5ヶ年平均		386	89	
	28年見通し		390	90	
概要	<p>愛知、静岡、鹿児島、輸入等から入荷。6月例年よりも遅くピークを迎えた胡蝶蘭は低迷を脱し、いくらかは持ち直すと思われる。気温の上昇もあり、カトレアは依然厳しく、洋らん全体としても厳しい状況が続くことが予想される。</p>				
ば ら	実績	23年	810	44	
		24年	863	46	
		25年	856	55	
		26年	783	44	
		27年	770	50	
	5ヶ年平均		816	48	
	28年見通し		800	50	
概要	<p>愛知、岐阜、和歌山、長野から入荷。三重は株休めの為、出荷がなくなり、周年の暖地産は夜冷対応が始まる。入荷は多くないが需要も鈍く、落ち着いた展開と思われる。</p>				
枝 も の	実績	23年	1,733	43	
		24年	1,898	39	
		25年	1,961	44	
		26年	1,753	41	
		27年	1,848	44	
	5ヶ年平均		1,839	42	
	28年見通し		1,850	44	
概要	<p>栽培物が愛知、静岡を中心に入荷し、引き合いは同じものが多く軟調気味。山取りは人気が高く、堅調に推移。</p>				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ア ン ス リ ウ ム	実 績	23年	24,971	1,034	
		24年	29,574	1,036	
		25年	30,943	975	
		26年	24,000	958	
		27年	24,357	1,053	
	5ヶ年平均		26,769	1,011	
	28年見通し		24,000	1,042	
概要	<p>入荷量は昨年並か。作付けに大きな変更はなく、6号鉢が主体での入荷し、MIXでの入荷が多い見込み。色別では赤・ピンク主体で、時期的に白の引き合いが強い見込み。 昨年7月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知県(99.5%)、2位三重県(0.3%)、3位その他(0.1%)となっている。</p>				
フ ア レ ノ プ シ ス	実 績	23年	22,862	3,326	
		24年	27,350	3,315	
		25年	29,433	3,364	
		26年	29,176	3,235	
		27年	25,346	3,528	
	5ヶ年平均		26,833	3,350	
	28年見通し		25,000	3,520	
概要	<p>入荷量は昨年並か。今年は昨年と違い選挙需要が多少見込めるのと、お中元需要があるため、昨年より平均単価は上がる見込み。例年通り下旬にはお盆需要に切替わるので、満開にならぬよう、しっかり蓄をつけた状態での出荷を望む。 昨年7月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知県(58.3%)、2位静岡県(8.8%)、3位熊本県(3.9%)となっている。</p>				
バ ラ 及 び ミ ニ バ ラ	実 績	23年	11,201	69	
		24年	9,341	144	
		25年	15,028	121	
		26年	12,030	109	
		27年	14,415	126	
	5ヶ年平均		12,403	114	
	28年見通し		14,000	129	
概要	<p>入荷量は昨年並か。生産、販売においてもロスが多くなる時期なので、万全の品揃えと共に販売する事が鍵となる。 昨年7月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位岐阜県(61.9%)、2位愛媛県(23.2%)、3位愛知県(7.6%)となっている。</p>				

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
オンシジユウム	実績	23年	2,015	898	
		24年	2,096	976	
		25年	2,408	647	
		26年	1,591	789	
		27年	1,450	800	
	5ヶ年平均		1,912	819	
	28年見通し		1,600	625	
概要	<p>入荷量は昨年並みかやや減少。平均単価は5、6月の展開から予測すると今年も厳しい金額が見込まれる。ただし、お中元需要もある中、数量は多くない為、しっかり提案して販売していけば面白い商材になる可能性がある。暑い時期になるので病気などに注意が必要。昨年7月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知県(42.8%)、2位長崎県(41.6%)、3位高知県(12.1%)となっている。</p>				
スパティファイラ	実績	23年	13,325	267	
		24年	15,940	297	
		25年	14,607	274	
		26年	9,733	315	
		27年	10,594	340	
	5ヶ年平均		12,840	295	
	28年見通し		10,500	343	
概要	<p>入荷量は昨年より減少か。4号と5号サイズは生産を中止された生産者がいるので出荷数量は減少する見込み。昨年7月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位三重県(46.6%)、2位愛知県(26.4%)、3位岐阜県(25.3%)となっている</p>				
ドラセナ類	実績	23年	29,975	696	
		24年	34,479	751	
		25年	30,614	847	
		26年	36,589	833	
		27年	28,200	736	
	5ヶ年平均		31,971	775	
	28年見通し		28,000	714	
概要	<p>入荷量は昨年より減少か。愛知県産が中心ではあるが輸入原木の減少から、マッサン、ユッカ、コンシ等の主要品目が少ないと思われる。入荷数量が少ない分、平均単価は上がるのではないかと予想。昨年7月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知県(65.0%)、2位沖縄県(9.9%)、3位鹿児島県(6.4%)となっている</p>				

主要農林水産物の輸出入実績(2016年)

1 輸出実績

品名	4月						4月までの累計					
	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比
	トン	%	千円	%	円/kg	%	トン	%	千円	%	円/kg	%
果実(生鮮・乾燥)	1,623	112.6	780,048	121.1	481	99.9	15,667	113	7,233,703	121	462	109
うんしゅうみかん	8	90.0	7,733	102.3	956	177.5	232	90	139,126	102	600	108
りんご	1,526	113.1	615,370	119.8	403	101.6	14,772	113	5,917,213	120	401	108
なし	-	44.3	-	40.5	-	-	27	44	12,552	41	474	91
野菜(生鮮・冷蔵・乾燥)	564,418	178.1	-	-	2,283,973	178	-	-
緑茶	398	121.6	992,688	125.5	2,492	91.1	1,450	122	3,555,394	125	2,452	98

2 輸入実績

野菜(生鮮・冷蔵)	69,197	88.1	8,949,280	102.0	129	114.9	254,613	88	35,033,907	102	138	116
トマト	504	95.4	195,260	96.4	387	105.4	1,985	95	759,731	96	383	101
たまねぎ	19,474	66.7	1,646,889	101.4	85	162.8	67,591	67	5,327,913	101	79	152
にんにく	1,617	98.4	440,403	121.9	272	127.6	6,525	98	1,684,421	122	258	124
ねぎ	3,552	85.8	731,677	146.6	206	198.2	15,483	86	2,943,784	147	190	171
結球キャベツ	605	34.2	31,593	36.9	52	116.4	3,361	34	159,366	37	47	108
ブロッコリー	2,508	109.6	586,566	96.9	234	82.7	6,715	110	1,529,803	97	228	88
にんじん・かぶ	4,920	80.5	358,192	95.1	73	156.7	16,600	81	994,293	95	60	118
ごぼう	3,730	120.9	264,252	137.3	71	120.4	15,018	121	998,350	137	66	114
えんどう	93	87.9	49,727	113.1	532	134.2	326	88	173,280	113	531	129
アスパラガス	747	119.4	549,475	107.0	736	87.4	5,178	119	3,548,668	107	685	90
まつたけ	-	116.7	-	177.5	-	-	0	117	822	178	4,893	152
しいたけ	102	69.2	33,325	66.7	326	80.7	716	69	255,592	67	357	96
かぼちゃ	19,860	107.0	1,315,942	82.8	66	81.6	70,108	107	5,279,710	83	75	77
果実(生鮮・乾燥)	167,290	104.5	31,250,747	104.1	187	95.4	558,915	105	101,500,892	104	182	100
バナナ(生鮮)	87,947	103.5	9,636,398	110.5	110	106.0	312,955	104	31,928,485	111	102	107
パイナップル(生鮮)	12,938	90.0	1,289,181	109.1	100	120.9	45,118	90	4,455,604	109	99	121
レモン(生鮮・乾燥)	3,349	91.4	729,954	81.1	218	84.9	14,400	91	3,333,632	81	232	89
オレンジ(生鮮・乾燥)	11,546	119.7	1,619,495	106.7	140	85.1	34,057	120	5,041,541	107	148	89
グレープフルーツ(生鮮・乾燥)	6,073	84.9	892,590	88.2	147	96.3	33,370	85	5,183,751	88	155	104
メロン(生鮮)	4,085	128.1	422,561	123.3	103	95.5	12,342	128	1,341,605	123	109	96
ぶどう(生鮮・乾燥)	9,303	229.4	2,803,987	240.0	619	206.1	24,158	229	7,532,705	240	630	207
キウイフルーツ(生鮮)	12,298	117.9	4,453,351	122.1	362	104.1	13,887	118	5,008,844	122	361	104
いちご(生鮮)	2	75.7	1,504	66.4	731	68.7	11	76	10,933	66	1,012	88
切花(生鮮・乾燥)	2,994	99.4	3,012,376	96.0	1,006	97.2	13,599	99	12,436,504	96	915	97
鳥獣肉類	186,913	108.3	88,527,229	93.5	474	86.1	661,377	108	316,913,119	94	479	86
牛肉(くず肉含む)	52,272	92.2	28,644,008	74.5	548	79.1	149,073	92	87,615,681	75	588	81
豚肉(くず肉含む)	76,177	115.7	40,049,513	110.9	526	97.8	285,289	116	150,305,723	111	527	96
鶏肉	47,169	113.6	9,816,032	84.6	208	69.8	187,422	114	43,756,921	85	233	74
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍)	157,432	98.9	96,665,148	94.4	614	95.2	534,509	99	346,091,703	94	647	96
まぐろ類	19,485	104.2	15,326,766	91.7	787	95.8	73,875	104	67,932,631	92	920	88
さば・さんま・あじ・いわし	8,133	89.8	1,575,399	79.2	194	85.4	33,123	90	6,471,305	79	195	88

資料 農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

※速報値によるデータのため、累計値に誤差がある場合があります。

※表中に使用した符号は、次のとおりです。

「 0 」・・・単位に満たないもの

「 ... 」・・・事実不詳

「 - 」・・・事実のないもの

関 連 指 数

項目 年月		消費者物価指数 <small>(全国平成22年=100) 愛知県平成22年=100)</small>				
		総合	生鮮野菜	生鮮果物	肉類	魚介類
全 国	25年 平均	100.0	96.4	101.6	99.3	102.4
	26年 平均	102.8	99.3	105.8	106.8	112.3
	27年 平均	103.6	108.0	114.3	112.1	116.6
	28年 2月	103.2	108.3	137.5	114.0	117.5
	3月	103.3	108.4	135.9	114.1	116.5
4月	103.4	109.9	125.4	113.9	115.8	
愛 知 県	25年 平均	99.9	98.7	104.1	99.1	103.5
	26年 平均	102.6	103.7	109.6	107.3	112.7
	27年 平均	103.5	111.3	117.3	114.7	115.7
	28年 2月	103.0	109.3	142.2	115.1	117.5
	3月	103.3	109.7	143.9	119.0	115.1
4月	103.5	112.5	127.4	119.5	111.5	

項目 年月		農業物価指数(平成22年=100)				
		農産物総合	米	野菜	果実	畜産物
25年 平均	平均	102.8	112.8	98.7	94.7	107.7
	26年 平均	102.2	98.8	97.8	93.3	118.4
	27年 平均	-	-	-	-	-
	28年 2月	120.6	93.6	128.1	153.1	130.8
	3月	120.5	93.4	126.3	140.3	131.6
4月	113.8	93.5	108.7	128.6	130.0	

※平成27年平均については未公表。

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国…総務省統計局「消費者物価指数月報」
愛知県…愛知県県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名古屋市小売価格(円)													
品目 年月	うるち米 (単一品種「コシヒカリ」以外)	キャベツ	はくさい	ねぎ	レタス	ばれいしょ	だいこん	にんじん	たまねぎ	きゅうり	トマト	生しいたけ	りんご(ふじ)
	5kg	1kg										100g	1kg
25年 平均	2,149	156	202	631	499	304	162	367	225	564	652	165	494
26年 平均	1,970	170	190	661	481	321	162	376	276	581	649	161	545
27年 平均	1,855	202	227	691	561	374	175	373	270	623	684	180	563
28年 2月	1,896	121	137	692	661	325	142	318	245	676	796	186	535
3月	1,887	133	217	625	614	358	163	349	244	612	781	174	555
4月	1,901	181	271	625	538	432	179	395	244	504	769	175	593
品目 年月	みかん	グレープフルーツ	オレンジ	いちご	バナナ	キウイフルーツ	緑茶(せん茶)	カーネーション	きく	バラ	牛肉(ロース)	豚肉(バラ※)	まぐろ
	1kg		100g	1kg		100g	1本		100g				
25年 平均	557	300	364	209	216	772	540	157	177	319	810	223	407
26年 平均	584	336	437	174	240	824	533	166	175	336	861	243	428
27年 平均	643	383	477	183	264	886	526	177	177	353	925	228	461
28年 2月	836	483	472	209	260	1,066	520	173	179	352	867	224	486
3月	951	415	484	206	265	1,099	518	194	191	379	940	240	469
4月	…	415	422	166	273	1,116	518	187	190	362	932	246	446

※豚肉は26年12月までロースの価格を示す。

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



いいともあいち運動って知ってる??

- 県内の消費者と生産者が今まで以上にいい友関係になる
- Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)
＝もっと愛知県産品を食べよう (利用しよう)

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えていこうという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート No.517
平成28年7月発行
農林水産部食育推進課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6719